

# 視聴覚教育

No. 90

発行日

58. 2. 1

発行

岡崎市AVL

編集

広報委員会

## 教科書 16ミリ巡回映画終わる

教材費による16ミリ映画23本が一月よりブロックに分けて巡回上映されていきます。巡回映画にある「春風の子どもたち」のこともたちの反心が井村先生より寄せられましたので紹介します。

### 春風をばいこんでくれぬ映画

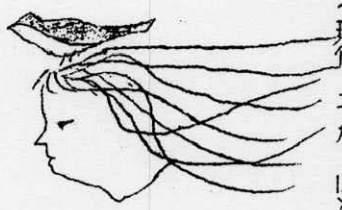
矢作北小学校 井村峰子

学芸会の練習に及ばず、教師もども心が落ち着かない。そんな折りに視聴したのが「春風の子どもたち」である。

ちよっこ強い風が吹けばふっこんでしまいどうなオムボ口寺のお話でした。おねしよを叱咤するお母さん、それを見え見ぬふりをします。こぼけた住職、こぶおさん、くりくり頭の五人の子どもたちがこのお話の主人公である。どこにでもいる何げない家族の物語でした。しかし、四十分見終って心がほのぼのと暖かくなり、ほっとため息がもれたのは何故だろうか。

映画視聴後の児童の感想をみると、A子は「一番よかったと思ふところは、一番上のお兄さんがしけんにかかって、家族でうどん屋さんに行ったときのことです。食べ始めや食べ終りに、口にたぐまますらとかうごちさつまらとちまんご手を合わせさきつて、うごんのしるもせんぶ飲んだのを見て、うごん代をたたいしてくれたことす。」と書いてくる。B子は「ほこげ様が見ていらっしやるから、悪いことやうとをついたりする事ができません。見ていたら、子どもをもらいに来た女の人がいました。お父さんとお母さんは、なくなつたはず인데、兄弟たちの尻のみでもらわれませんでした。わたしは自分じゃなくても、ほっとしました。」と書いてくる。二人の感想を読んでみると、食べ物大切にしている感謝する心、子を思ふ親の心、兄弟を愛する心をしっかりと受けとめているようだ。

神様やほこげ様を信じないと言われている現代、子が「ほこげ様が見てくださる」だから悪いことをしない。この寺の子どもたちに共鳴し、感動している。この日、給食前にし、かり手を合わせ「いただきます」をする児童を見て、この映画は、わがクラスに春をまたらせてくれたことを感じた。



# 自作ビデオ作りの思い出

葵中 杉浦 修



私が初めてVTRカメラを扱ったのが四年前。駒ヶ原の撮影に行いた時だった。その頃は、二つの「まみ」を回し、ホワイトバランスを調節する方式で、丁寧に何度も調節し、見直して撮ったことを覚えている。ベテランの先生からすれば、「まるでろっこしくて……」と思われたに違いない。

ライブラリーには、まだ電子編集機が入っておらず、編集は、切のいる職人的な技術が必要だった。最初だった三十秒を編集するのは、二時間かかったことを覚えている。家に帰り、テレビを見ていて、「きれいな映像だ」とか、「スジが入った」とか、氣になっただけだった。結局、冬休みの二日間をほとんど徹夜して、最終的に完成させることができた。一つの作品になったあの喜びは、今でも忘れられない。

あれから三年、自作の作品を毎年一本ずつ作ってきた。コンテ検討・撮影編集・音入れなども七十時間から、百時間をかけている。岡崎の自作VTRは、全国でも高い評価を受けているが、何よりも、苦労して作った作品を、授業の中で生かしてもらいたいという心が、作る者の願いである。

## 教材の16の今月

【近代日本の歩み(昭和)】(B24) 20分 中二社会  
世界恐慌の嵐の中で、苦しみにあえぐ国民の様子  
軍国主義の台頭、戦時体制、太平洋戦争、敗戦へと  
移っていったようすと、平和への誓いについて。  
【磁石】(A10) 14分 小六理科  
磁石の原理を理解させ、磁石の働き  
や磁石と電流の関係、磁石を応用した  
発電機などについて知らせるもの。



## 教材の16の今月

### 57年度の自作視覚教材完成

- 【ビデオ】
  - 「いねかり」 小二社 11分
  - 「小あいの学校」 小三社 12分
  - 「こみのゆくえ」 小四社 15分
  - 「岡崎市体育館をたずねて」
- ▼学芸会に効果音のレコードを
  - 「風、雨がど自然の音、電車、飛行機」
  - 「宅地化の進む岡崎」 中二社 14分
  - 「8ミリ」

「塗り師」 一般 14分  
★カビンク希望者の方は  
テープを送付のこと